



## News Release

2024年4月15日

会社名 武田薬品工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー  
(コード番号 4502 東証プライム市場)  
報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ  
完戸 綾 070-2687-3620  
E-mail: aya.shishido@takeda.com

### 円貨建てハイブリッド社債発行に関するお知らせ

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)は、本日 2019年6月6日に当社が発行した第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)(以下、第1回ハイブリッド社債)の全額または一部の借換のため、公募形式による第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)(以下、本社債)を発行することをお知らせいたします。当社は、本日、2024年の発行に向け、本社債の発行に関する訂正発行登録書を関東財務局長に提出しました。

#### 1. 本社債発行の目的及び背景

当社は、Shire plcの買収後、2019年6月に第1回ハイブリッド社債5,000億円を発行しました。その結果として、現在ハイブリッド社債は当社の資本構成上重要な位置を占めており、今後も引き続きその重要性を有するものと考えております。2019年に発行した第1回ハイブリッド社債は2024年10月6日に初回任意償還日を迎えますが、本社債及び(必要に応じて)同様のスキームのハイブリッドローンによる調達資金によってその借換を予定しております。

#### 2. 本社債の特徴

本社債は資本と負債の特徴を併せ持ちます。負債として利子が付き、満期償還日が設定されております。一方でシニア債務やその他債務には劣後し、利息の任意繰延が可能であり、償還期間が最長60年と超長期となります。このように負債と資本のハイブリッドな特徴を有しているため、当社では複数の格付機関より本社債に対して50%の資本性の認定を受けることを見込んでおります。本社債は株式に類似した特徴を有するものの、株式に転換可能なものでなく、株式の希薄化は発生いたしません。

#### 3. 今後のスケジュール

本社債の発行に係る主幹事として、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC日興証券株式会社及び、みずほ証券株式会社を起用し、需要状況や金利動向を勘案した上で、2024年中頃に発行金額等の条件を決定する予定です。詳細については、決定次第すみやかにお知らせいたします。

#### <留意事項>

本公表文は、当社の公募ハイブリッド社債(公募劣後特約付社債)の発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、売却その他の処分の提案、案内、又は勧誘のいずれの一部を構成、表明、又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。

また、この公表文は、米国1933年証券法(以下、「米国証券法」)上の米国における証券の募集行為ではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国1933年証券

法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。当該目論見書は、当該証券の発行会社又は売出人より入手することができますが、これには、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本社債については、米国における証券の募集又は販売は行われません。

### <武田薬品について>

武田薬品工業株式会社 (TSE: 4502/NYSE: TAK) は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2 世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約 80 の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

### <問い合わせ先>

#### <投資家関係問い合わせ先>

Christopher O'Reilly  
クリストファー・オリライー  
[christopher.oreilly@takeda.com](mailto:christopher.oreilly@takeda.com)  
+81 (0) 3-3278-2543

#### <報道関係問い合わせ先>

完戸(シシド) 綾  
[aya.shishido@takeda.com](mailto:aya.shishido@takeda.com)  
+81 (0) 70-2819-9041

### <重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあります。

### <将来に関する見通し情報>

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重

要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業との PMI(買収後の統合活動)の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>)又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上